

清田高校授業「総合的な探求の時間 さっぽろ探求『探求人インタビュー』」における参加学生の意見

標記授業が令和 4 年 7 月 13 日（水）に行われ、その 1 つを、「竹中工務店×北海道森林管理局」コラボで担当されました。

授業の最後に、「今後、札幌市が森林基本方針を策定する中で」「100 年先を見据えた森づくりに向けたみなさんのアイデアは？」と、学生たちに問いかけていただきました。

学生からは前向きな意見が多数寄せられました。そのうち、方針や、方針策定後の参考になりそうな意見について、本会議で報告いたします。

反映の方法等については、次回有識者会議等で提案させていただきます。

【これまで持っていたイメージ】

- 木を伐ること（「間伐」や「主伐＋再造林」）に対して、環境に悪いイメージがあった。
- 人工林には、悪いイメージがあった。
- 木は香りがよい。

【木材利用促進のアイデア】

- 自分でとってきた木を使って、家のイスやストラップ等をつくるとよいのではないかと身近でよく使うものだと愛着がわく。
- 塗装されていると木材を使っているのかがよくわからない。できる限り木目がわかるようにすると、使っている感が出てよい。

【普及啓発のアイデア】

- イベントを開催してはどうか。
- 学生はそれぞれなりたい職業があるので、それぞれの職業と木を結びつけた PR をしてはどうか。
- 中学生の時、宿泊学習で植樹したことが思い出に残っている。「体験」を「思い出に残りやすい行事の中で」実施できるような受け入れ体制をつくると効果が高いのでは。